

# **技術提案書評価基準**

**〔岩手県庁内基幹業務システム構築業務〕**

**令和 7 年 12 月**

**岩手県**

評価方法及び委託候補者決定方法は次のとおりとする。

## 1 選定委員会

本業務の委託候補者の決定に関する事項は、「岩手県庁内基幹業務システム構築業務に係る技術的審査委員会」（以下「委員会」という。）において行う。

## 2 評価方法

### （１） 評価の配点

評価にあたっては、320 点の範囲内で採点を行い、技術評価による得点（以下「技術点」という。）と価格評価による得点（以下「価格点」という。）に区分し、配分を 3：1 とする。

$\text{総合評価点 (320 点)} = \text{技術点 (240 点)} + \text{価格点 (80 点)}$
---

### （２） 技術評価の方法

技術点は、必須項目を満たした場合に与えられる「基礎点」と、各々の加算点項目を満たした場合に与えられる「加算点」の合計とする。配点は次のとおりとする。

$\text{技術点 (240 点)} = \text{基礎点 (5 点)} + \text{加算点 (235 点)}$
--

各項目の評価は、委員会が「技術提案書評価表」（以下「評価表」という。）に基づき行う。

#### ア 基礎点

委員会が全ての必須項目について仕様を満たすと判断した場合、基礎点 5 点を付与する。

評価の結果、どれか一つでも満たされていないと判断した場合には、不合格とする。

#### イ 加算点

委員会の各委員が評価表に基づき加算点項目の評価を行い、加算すべきと判断されたものに対して以下の表に基づき点数化する。

各項目の点数は、委員会の各委員による当該項目の点数の総和を委員数で除して、小数点以下第 5 位を切り捨てた値とする。

各項目の点数の総和を、加算点とする。

① 評価項目

項番	評価項目	配点	備考
1	提案全体	20	
2	パッケージ概要	20	
3	特筆すべき提案事項	10	
4	機能要件（任意項目）	最大 30 点	「任意項目」の回答から、重要度「高」「中」「低」に応じて 0.3 点、0.2 点、0.1 点を加点。最大を 30 点とする。
5	個別機能	45	仕様書内で評価を明記している点について加点。
6	非機能要件	20	
7	実施体制	30	
8	スケジュール	15	
9	運用保守	25	25 点のうち、5 か年の保守費用に対して、最も安価な費用を提示した事業者を 10 点（満点）とする。次点ごとに順位点として、5 点、3 点、1 点（以下、差なし）とする。
10	デモ評価	20	

② 評価基準

評価	評価基準
5	提案内容が特に優れている。
4	提案内容が優れている。
3	提案内容が評価できる。
2	提案内容が十分である。
1	評価できない。

（３） 価格評価の方法

価格点は、参考見積書の見積価格を予算額で除して小数点以下第 5 位を切り捨てて得た値を 1 から減じて得た値に入札価格に対する得点配分を乗じて得た値とする。なお、提案上限額は実施要領で確認のこととし、提案上限額を超えた場合には、不合格とする。

$$\text{価格点} = \{1 - (\text{見積価格} \div \text{提案上限額})\} \times 80 \text{ 点}$$

(4) 不合格の扱い

ア (2)－「ア 基礎点」で不合格とした者の加算点項目の評価は行わない。

イ (2)－「ア 基礎点」で不合格とした者の見積書は開札しない。また、価格評価は行わない。

3 委託候補者決定方法

(1) 見積価格が予算額の範囲内であり、かつ、総合評価点が最も高い者を契約候補者とする。

(2) 委託候補者となるべき者が2者以上あるときは、くじにより委託候補者を決定するものとする。

評価項目	評価区分	配点
提案全体		
(1) 県の目的・課題を理解している	加算	10
(2) 業務改善・DXの実現性が高い	加算	10
パッケージ概要		
(1) 提案パッケージが優れている	加算	10
(2) 将来的な機能の拡張性が優れている	加算	10
特筆すべき提案事項		
(1) 特筆すべき提案事項（独自提案）がある	加算	10
機能要件		
(1) 必須項目	基礎	5
(2) 任意項目	加算	最大30
個別機能（仕様書内で評価を明記している点）		
(1) 電子決裁機能	加算	5
(2) ファイル添付機能	加算	5
(3) 視認性の向上	加算	5
(4) 新システム内のデータ連携（リアルタイム性）	加算	5
(5) 登録漏れ・入力誤り等の把握の容易性	加算	5
(6) 操作性の向上	加算	5
(7) 画面操作以外のユーザビリティの向上	加算	5
(8) 外部システム連携の拡張性	加算	5
(9) オフライン時間の利用及び縮小化	加算	5
非機能要件		
(1) 稼動要件	加算	5
(2) 性能要件	加算	5
(3) SLA	加算	5
(4) セキュリティ要件	加算	5
実施体制		
(1) 実施体制の実効性が高い	加算	10
(2) 県の業務を理解し要件定義の実効性が高い	加算	10
(3) システム開発の実績	加算	5
(4) プロジェクト管理	加算	5
スケジュール		
(1) スケジュールの実効性が高い	加算	5
(2) 円滑なシステム移行が期待できる	加算	5
(3) 研修・教育の取組みの評価が高い	加算	5
運用・保守		
(1) 運用保守体制が十分である	加算	5
(2) 障害時の対応が十分である	加算	5
(3) 法改正に対応力がある	加算	5
(4) 運用保守費用	加算	10
デモ評価		
(1) シナリオ 1 評価	加算	10
(2) シナリオ 2 評価	加算	10